



JA長野厚生連安曇総合病院

きずな

第 290 号

発行所: 〒399-8695
 北安曇郡池田町池田 3207-1
 TEL(0261)62-3166 (代)
 JA長野厚生連安曇総合病院
 発行責任者: 院長 中川 真一
 編集: きずな編集委員会
<http://www.azumi-ghp.jp/>
 印刷: PO 印刷(株)

北アルプス地域ケア シンポジウム

精神科医師 樋端 佑樹

平成 23 年 3 月 4 日、松川村すずの音ホールで地域ケアの在り方を皆で考え、職種や領域にかかわらず顔の見える関係をつくっていくことを目的として第 1 回北アルプス地域ケアシンポジウムが開催されました。

はじめに愛知県の国立成就医療研究センターの洪英在(ほん よんじえ)先生に「非がん患者の終末期ケアと在宅医療支援病棟」というテーマでお話をいただきました。

認知症や心不全などの非がん患者の終末期は経過が長く、経過も予測できなくなる 1 週間くらい前までは日常生活動作も保たれることが多く、がんの終末期とは違った大変さがあります。いよいよ口から食べられなくなった時にどうするかも悩みどころです。

長寿医療研究センターでは様々なニーズに応えるため平成 21 年 4 月に在宅医療支援病棟を開設しました。この病棟は地域で在宅患者さんの主治医となる登録医が、登録した患者さんを病院とともに最期まで支えていく体制を提供しています。がんの終末期の患者さん、神経難病、脳血管障害を中心に、認知症、呼吸器、骨間接疾患など高齢者の多様な疾患を対象とし、

事務長就任にあたって



このたび、
4 月 1 日より
事務長を拝名

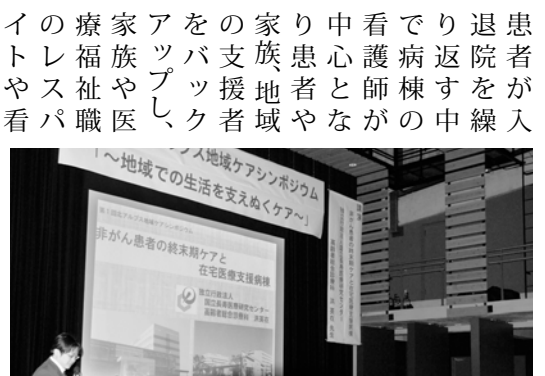
致しました平林幹張と申します。

私は、おとなり松川村の出身でありまして地元の大北農業協同組合に 35 年勤務致しまして昨年 3 月退職致しました。4 月より当院に勤務しましたが、連合会の経験はまったくありませんでした。今回、大ベテラン矢野口前事務長の後を受け就任致した訳ですが、責任の重さを痛感しております。私の原点は「農業協同組合」であり、骨身にしみついたものは農協理念です。「組合員に対する奉仕の心」でありますから根本は「組合員」が「患者さん」に置き換わった事と考え、基本は、組合員の為に医療を通じてどんな奉仕が出来るかであり、特はこの地域にとって必要な医療活動や保険予防活動また介護等それぞれの場面にあって、こうした医療支援であり、また

医療の質の向上が求められ、実行出来るのが問われ、さらに経営的にも向上を目指さなければならぬ組織であると考えます。

事務長 平林 幹張

さて世の中は、日本の歴史上嘗てなかった危機「東北地方太平洋沖地震」「長野県北部地震」によりまして地震と津波と原発事故による放射能汚染被害が物流危機や混乱を招き、影響は計画停電、エネルギー供給不足、食品をはじめとした生産流通・経済危機とさまざまな苦難が波状的に起こっています。また大地震が負のサイクルを引き起こした大混乱がさらなる混乱をよび、また被害の範囲・規模が大きすぎる為「日本存亡の危機」にあるとも言われています。こうしたなかようやく政府も情報集約が進め場所もあります。が、世の中が復興に向けて「日本人の底力」苦境に立った時の人間の力が求められています。現段階では、医療活動支援を通じて当病



患者が入退院を繰り返す中で病棟の看護師が中心となり患者や家族、地域の支援者をバックアップし、家族や医療福祉職のレスパイトや看取りも含め、いつでも入院できる環境を提供しています。その実践の過程で病院の医療文化が変わり、地域の医療文化が変わって行く様子が伝わってきました。

講演に引き続き、安曇総合病院の薛医師らが始めた在宅医療支援の試みを発表し、患者さんのニーズに応えるため、また医療福祉職が燃え尽きないために多職種がチームで関わることの大切さを訴えました。さらに若林医院の若林医師からは地域の在宅患者を病院がバックアップして一緒に支えていくことの必要性を訴えました。今後、地域で高齢者の尊厳ある生活を地域で支え抜くために必要なことを意見交換でき、また交流会でも繋がりを深めることができたいと思います。第 2 回は夏頃を予定しています。

認知症を考える住民公開講座

「認知症を地域で支える」とは可能か？

安曇総合病院 地域福祉科 村石 真木子

去る平成23年2月20日に、長野県地域包括医療協議会大北支部主催、安曇総合病院認知症疾患医療センター共催で、「認知症を考える住民公開講座」がJ A アプロードにて開催されました。

第一部、基調講演として長谷川和夫先生の「認知症の人を地域で支える医療とケア」私たちにできること」と題しお話を伺いました。長谷川先生は現在認知症介護研究・研修東京センター 名誉センター長で、認知症の評価スケールとして幅広く使用されている長谷川式簡易知能評価スケール(HDS-R)を開発された先生です。

認知症とは何かを知るということが第一。知っている(知識)⇨力となり⇨ケアを学び⇨町づくりへとつながり、新しい絆をつくるということ、が講演の流れでした。

認知症の人の立場や視線にたった、その人を中心においたケアを「パーソンドケア」といいます。それは、ゆつくりした時の流れ・なじみの関係・安心

できる絆をその人の周囲にめぐらすことです。そして、聴くことを第一にする。何を考えておられるのかわからないから「聴いて」みる。自分の物語を語ってくださる。そして、お話を伺う時に「目」を見て話すこと、フィードバックを大切に、感情を入れてお話をすることと話されました。

新しい絆をつくるということとは、住み慣れた地域でくらしでいくためには、ひととひととの関係をつくりつなげて認知症の人の周りに安定した環境をつくることとのことです。

医師として、訴えをきいてもらいに受診される。診断だけで終わりではなく、その人の物語をきくこと、そして、「いつもあなたと一緒に考えているからね」という姿勢でかわるということ、そばに会場からも拍手がきました。

第2部では、まず、若林医院若林先生より、アンケート結果が報告されました。これは事前に認知症の人を介護されている介護者と地域包括支援センター・居宅介護支援事

業所にご協力いただきました。

認知症といわれている方の3割の方は「診断されていない」。介護度の認定は介護者が8割妥当、事業所は7割が妥当ではないと意見の隔たりがあること、自分が認知症になったら生活したくないところは「子のところ」が第一であったことが特徴でした。

パネルディスカッションでは、大北医師会長横澤先生、大田市牛越市長、池田町地域包括支援センター伊藤所長、信濃毎日新聞社半田記者、介護者代表小松美津子さんよりご報告をいただき、安曇総合病院村田副院長がコーディネーターをつとめました。

小松さんからの、やつとの思いでの相談なのだからそこで受け止めてもらえるよう、困ったときの福祉の窓口をひとつにしてほしいこと、診察時、医師に相談できない、してはいけないと患者は思っているから医師にも敷居を低くしてほしいこと、そして弱い人がくらしやすい社会、ぜひそんな地域につくらなきゃいけないという思いと意見に、印象を強く受けました。

「私たち」みんなでそんな地域をつくっていきましようという公開講座のメッセージでした。

患者さんからよくあるご質問

Q 予約があっても受付は必要ですか？

A はい、予約がある方もない方も必ず受付が必要になります。

受付機または窓口にて受付をしてから外来窓口で受付票と診察券をお出しになってお待ちください。

Q 病院内で携帯電話を使用したいんですが…？

A 当院では一部の場所で携帯電話の使用を許可しています。許可エリアの看板に従ってなるべく静かにご利用ください。

なお、院内の使用禁止エリアでは電源を切っていただきますようご協力をお願いします。

Q 診察代金を当日支払えなかったんですがどうすればいいですか？

A 診察日以外、土日でもお支払いができます。

診察カードをお持ちになってお越しください。

また、お仕事の都合などで昼間の時間に来院できない方は夜間窓口にてお支払いができます。夜8時頃までにお越しいただければ対応させていただきます。

公開講座通信

地域住民のための健康公開講座が3月1日に行われました。この講座は地域住民の皆さんに疾病についての正しい知識を提供し、また当院がどんな領域に力を入れて診療にあたっているかを知っていただくため、毎月1回開かれていくものです。

8回目となる今回は、「緩和ケアスピリチュアルペイン」と題しまして、岡谷塩嶺病院の金子和彦先生からお話をさせていただきました。約80名の参加がありました。



…次回予定…

第9回地域住民のための健康公開講座

日 時 4月26日(火) 18時から
外来棟1Fホール

テーマ 「高齢者のかゆみ」

講 師 信州大学医学部皮膚科学教授
奥山 隆平 先生

休診日のお知らせ

■で囲ってある日にちが全科休診日です

4月

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30

5月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

トピックス・アズミ

▼3月24日(木)、災害医療支援のため、福島県に当院の職員が向かいました。

▼4月1日(金)、新入職員辞令交付式が行われる予定です。

▼4月29日(金)、休日緊急当番医となっております。

編集後記

3月11日は日本人にとって永く脳裏に刻まれる日となってしまいました。今、自分にできることは何だろうか、私たちの多くが考えています。

気がつけば冬の厳しさは去りました。春よ早く来たと願ってやみません。(S・M)

安曇総合病院理念

および基本方針

〈理念〉

私たちは、地域の皆さまの健康を守るため、親切で安全な医療活動につとめ、ホスピタリティあふれる病院づくりをめざします。

〈基本方針〉

- ① 医の倫理を守り全ての患者さんの権利を尊重し、平等で安全な医療・福祉サービスを提供します
- ② 地域のニーズに応じた緊急医療体制の充実を図ります
- ③ 地域医療機関と連携し、在宅医療を支援します
- ④ J・A厚生事業を推進し、保健予防活動を通じて皆さまの健康増進に貢献します
- ⑤ 臨床研修に取り組み、信頼される医療人の教育育成につとめます
- ⑥ 文化・研究活動を積極的に展開し豊かな地域づくりに貢献します

当院は2004年に厚生労働省から臨床研修指定病院の指定を受けています

安曇総合病院臨床研修理念

- 1、医師として基本的な診療能力(態度・技能・知識)を身につけ、広い視野で医療ができることを目標とする。
- 2、患者に対し誠意を持ち心の通った診療ができる医師を育成し、医学の進歩と地域医療の発展に貢献する。

		担 当 医 表						平成 23 年 4 月
		月	火	水	木	金	土	
内 科	内 科（一 般） 初 診	岡田光代 塩月記代	東方壮男 鈴木彩子	川上裕隆 塩月記代	岡田光代（第1） 平野 桂（第2・4） 川上裕隆（第3・5） 芹澤由樹子	早野敏英 鈴木彩子	川上裕隆	
	内 科（一 般） 再 診 （予約制）	川上裕隆 東方壮男 林田研介	川上裕隆 岡田光代 林田研介 小林信光（信大） 塩月記代（午後） 芹澤由樹子（午後）	早野敏英 東方壮男	早野敏英	中川真一（9時30分～） 川上裕隆 林田研介	早野敏英 岡田光代	
	循 環 器 内 科	東方壮男	池田宇一（信大）	東方壮男	持留智昭（信大）	東方壮男		
	呼 吸 器 内 科	岡田光代	小林信光（信大）			花岡正幸（信大） （第1・3・5のみ）	藤本圭作 （信大：第1のみ）	
	神 経 内 科	中川真一（9時30分～）	鈴木彩子	中川真一（9時30分～） 受付は 11:00 まで	林田研介（10時～）	鈴木彩子	林田研介	
	血 液 内 科		川上裕隆	川上裕隆				
	消 化 器 内 科		新井 薫（午後） （予約制）					
精 神 科 ・ 心 療 内 科	専 門 外 来 （信大医師）				一條哲也（肝臓）信大 上條祐司（腎臓）信大		信 大 （リウマチ・膠原病）	
	精 神 科 心 療 内 科 （予約制）	村田志保 中村伸治 古田 康 樋端佑樹 衛藤高明 古屋昌宏 鬼頭 恒（信大）	中村伸治 古田 康（第2・4・5） 樋端佑樹（第2・4） 中村敏範 古屋昌宏（第1・3・5）	村田志保 中村伸治 古田 康 樋端佑樹 衛藤高明	長村哲周 衛藤高明（第1・3・5） 樋端佑樹 古屋昌宏	村田志保 中村伸治 衛藤高明 古田 康 古屋昌宏	中村伸治 古田 康 樋端佑樹 衛藤高明	
小 児 科	認 知 症 診 察		薛 孝太郎		交代制			
	午 前 午 後	信 大 原 敏博	保刈 健 （原 敏博）	原 敏博 （保刈 健）	保刈 健 （原 敏博）	原敏博 又は 保刈健	信 大 （原敏博 又は 保刈健）	
外 科	一 般 外 科	佐藤敏行	佐藤敏行	佐藤敏行	久保直樹	久保直樹	久保直樹	
	呼 吸 器 外 科	花岡孝臣			花岡孝臣		花岡孝臣	
	形 成 外 科 （受付15時30分まで）		三島吉登（信大）14時					
	専 門 外 来			信 大（乳腺） （完全予約制）		信 大（甲状腺）		
整 形 外 科	新 患 受 付 （受付10時30分まで）	大場悠己 （受付9時30分まで）	狩野修治	柴田俊一	王子嘉人	（輪 番）	（輪 番） （受付11時まで）	
	予 約	最上祐二 王子嘉人 柴田俊一	谷川浩隆 柴田俊一 大場悠己 高橋 淳（信大）	最上祐二 王子嘉人 狩野修治	谷川浩隆 狩野修治 大場悠己	谷川浩隆 最上祐二 畑 幸彦（信大）		
皮 膚 科		河内繁雄 吉川美香	河内繁雄 吉川美香	河内繁雄 吉川美香 こども外来（15時～17時） 初診（当日）受付 16:30 まで	河内繁雄 吉川美香	河内繁雄 吉川美香	河内繁雄 吉川美香	
泌 尿 器 科		平林直樹	平林直樹	平林直樹	平林直樹	平林直樹	平林直樹	
産 婦 人 科		信 大	曾根原衛雄	信 大		信 大		
眼 科		太田いつみ	今井玲子		太田いつみ・今井玲子 （午後コンタクトレンズ 要予約）	太田いつみ （受付10時まで）	今井玲子	
耳 鼻 咽 喉 科			信 大 （14時から診療）			信 大 （14時から診療） （第2・4土曜の前日のみ）	信 大 （受付11時まで）	
放 射 線 科					信 大			
麻 酔 科 （受付 11 時まで）		松本正紀	松本正紀	松本正紀	松本正紀	松本正紀	松本正紀	
リハビリテーション科		狩野修治	最上祐二 王子嘉人	谷川浩隆 大場悠己	中川真一	柴田俊一		
歯 科 口 腔 外 科		中嶋 哲 酒井洋徳	手 術 日 （急患対応は要相談）	中嶋 哲 酒井洋徳	中嶋 哲 酒井洋徳	中嶋 哲 酒井洋徳	中嶋 哲 酒井洋徳	